

- 問1 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な水路が建設された。
 - 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。
 - 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。
 - 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。
- 問2 日本の農作物の生産統計において、北海道が全国の生産量の約8割を占め、主に砂糖の原料として利用される寒冷地向けの作物は何ですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- てんさい
 - 茶
 - りんご
 - さとうきび
- 問3 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- 色丹島
 - 国後島
 - 択捉島
 - 歯舞群島
- 問4 日本の北端に位置する北海道地方は、本州の大部分とは異なる気候の特色を持っています。夏は短く涼しい一方で、冬の寒さが非常に厳しく、季節による気温差が大きくなるこの気候帯の名称を、次の中から選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- ツンドラ気候
 - 亜寒帯（冷帯）
 - 温暖湿润気候
 - 西岸海洋性気候
- 問5 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。
 - 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。
 - 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。
 - 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。
- 問6 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。
 - 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。
 - 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。
 - 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。
- 問7 北海道の北端に位置し、中心部に利尻山という火山をもつ人口約5000人の島々では、その豊かな自然景観が国立公園に指定されています。この地域の自然環境を活かした観光業とともに、古くから地域経済を支えてきた、高級ブランドとしても名高い特徴的な産業はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業
 - 冷涼な夏の気候を活かしたレタスなどの高原野菜の栽培
 - かつての金山跡を中心とした歴史的遺産による観光開発
 - 温暖な気候を利用したサトウキビの生産と加工
- 問8 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから
 - 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから
 - 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから
 - 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから
- 問9 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- ウィルタ民族
 - アイヌ民族
 - 琉球民族
 - 大和民族
- 問10 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
 - 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。
 - 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。
 - 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。
- 問11 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
 - 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
 - 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。
 - 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。
- 問12 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- 冷帯（亜寒帯）
 - 乾燥帯
 - 温帯
 - 熱帯
- 問13 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- 西側に石狩平野、東側に根釧台地
 - 西側に根釧台地、東側に十勝平野
 - 西側に十勝平野、東側に石狩平野
 - 西側に石狩平野、東側に十勝平野
- 問14 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与ることがあります。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
 - 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
 - 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。
 - 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。